



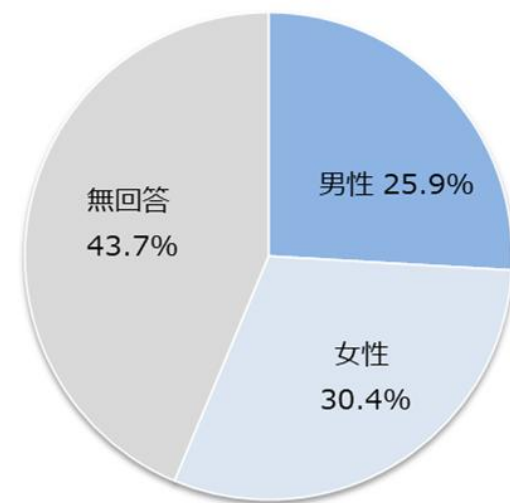
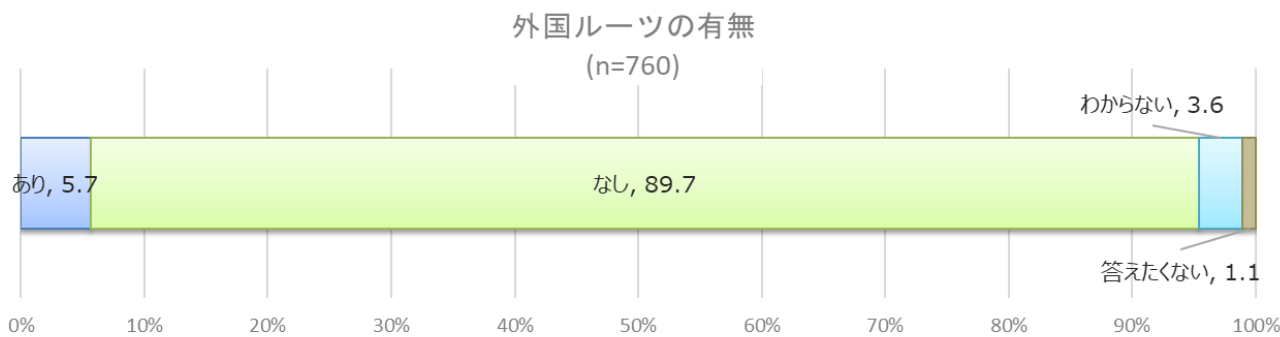
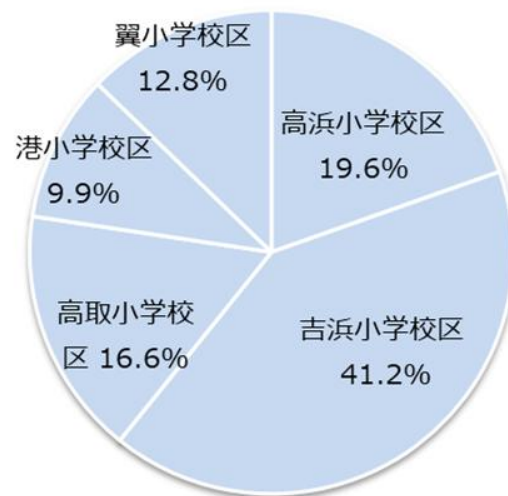
高浜市まぜこぜの居場所づくり実態調査 ver.1

2026年1月

調査概要



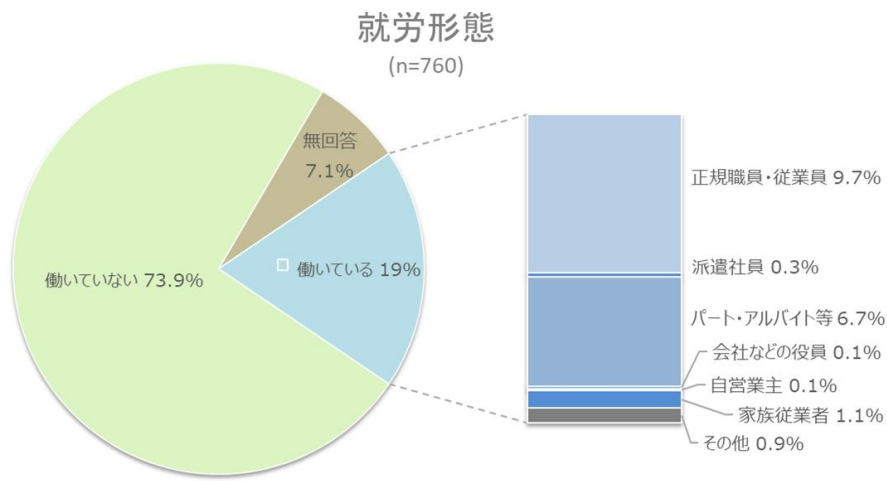
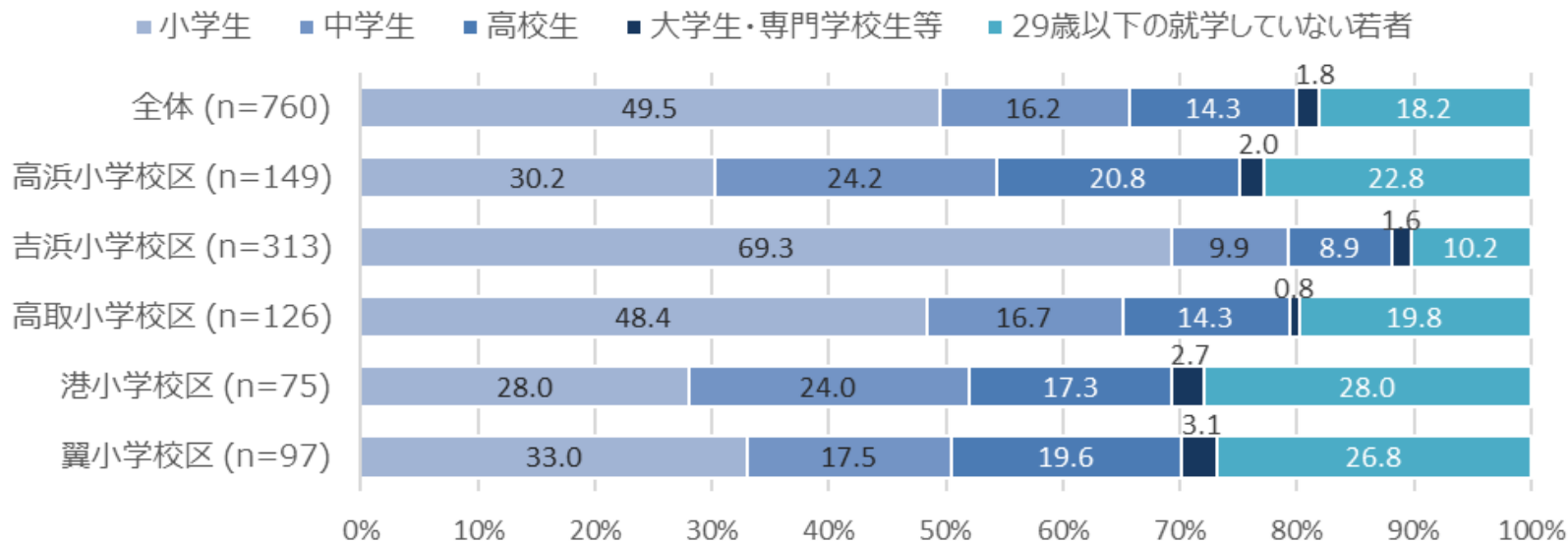
調査時期	2025年10月27日～12月10日
調査対象	高浜市に住む10歳～29歳以下の子ども・若者
調査方法	Webアンケートフォームへの回答
回答数	760件
備考	小学校1年生～3年生に対しては、別途2025年12月にグループヒアリングを実施（44名）。



調査結果： 回答者は小学生が約5割、中高生が約3割



学区別、回答者の年齢層



- 回答者の約半数は小学生。
- 特に吉浜小学校区で小学生の回答が多い。
- 一方、港小学校区・翼小学校区では働いている若者の回答割合が高い。

調査結果： 学校が居場所は6割、第三の居場所ありは約半数

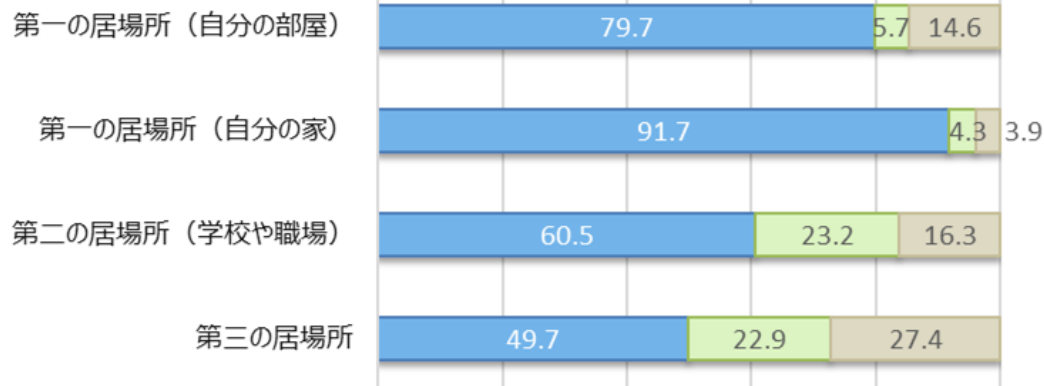


居場所の有無

(n=760)

■ある ■ない ■あてはまるものはない/分からない

0% 20% 40% 60% 80% 100%



- 自分の部屋や家が居場所であると回答したのは約80～90%。
- 学校（クラブ活動を含む）や職場が「居場所」と回答したのは約60%で、23.7%が「居場所と感じられない」と回答。
- 家や学校・職場以外の第三の居場所があると回答したのは、約半数になった。
- 学区別にみると、「学校・職場」が居場所になっている割合に差が見られ、高浜小学校区では高く、高取小学校区・港小学校区で低い傾向が見られた。

	第一の居場所 (自分の部屋)	第一の居場所 (家庭)	第二の居場所 (学校・職場)	第三の居場所
全体 (n=760)	79.7	91.7	60.5	49.7
高浜小学校区 (n=149)	79.9	88.6	69.8	54.4
吉浜小学校区 (n=313)	78.3	92.0	61.3	48.6
高取小学校区 (n=126)	76.2	92.1	53.2	43.7
港小学校区 (n=75)	84.0	96.0	52.0	56.0
翼小学校区 (n=97)	85.6	91.8	59.8	49.5

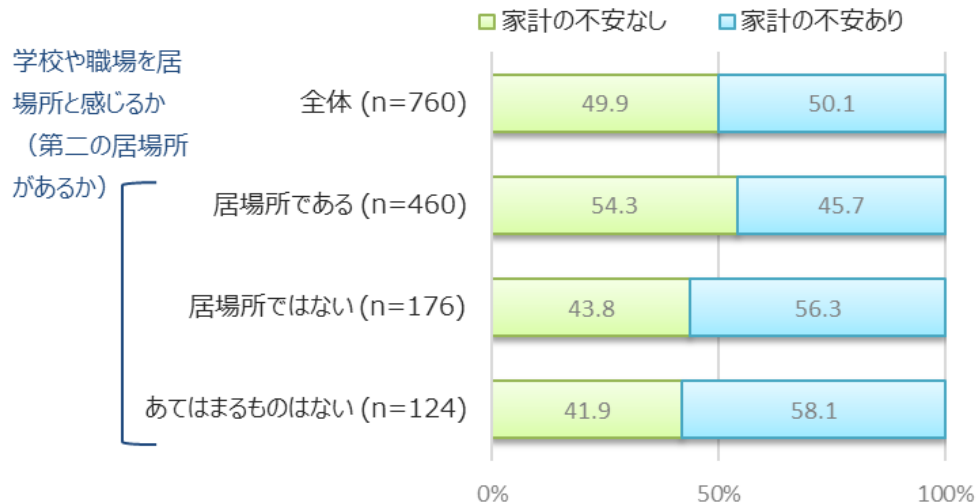
- 「第三の居場所がある」と答えた割合は、港小学校区、高浜小学校区で高い傾向が見られた。

調査結果：

学校や職場が居場所でない場合、第三の居場所も「ない」傾向



自分の家の経済状況についての不安
(第二の居場所別)



- 学校（クラブ活動を含む）や職場など、「第二の居場所」があるかどうかで家計への不安を比較すると、第二の居場所がない場合、家計の不安が高い結果となった。
- また、第二の居場所がある場合、両親と同居している割合、両親が結婚している割合が高い。
- 第三の居場所との関係を見てみると、学校や職場が第二の居場所になっていない場合、第三の居場所も「ない」割合が高く、第二の居場所にあてはまるものがない場合、第三の居場所があるかどうか「分からない」が高い。

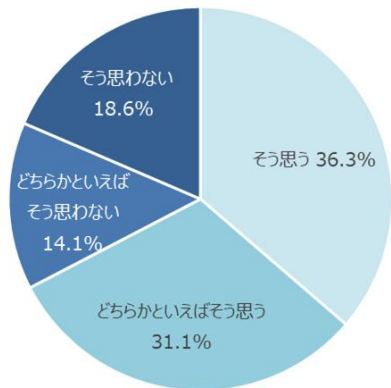
→ 第二の居場所がない層に、第三の居場所を提供する取り組みが必要となっていることがうかがえる。

		第三の居場所		
		ある	ない	分からない
全体 (n=760)		49.7	22.9	27.4
学校や職場	居場所になっている (n=460)	+++57.0	---19.6	---23.5
	居場所になっていない (n=176)	---38.6	+++32.4	29.0
	あてはまるものはない (n=124)	--38.7	21.8	+++39.5



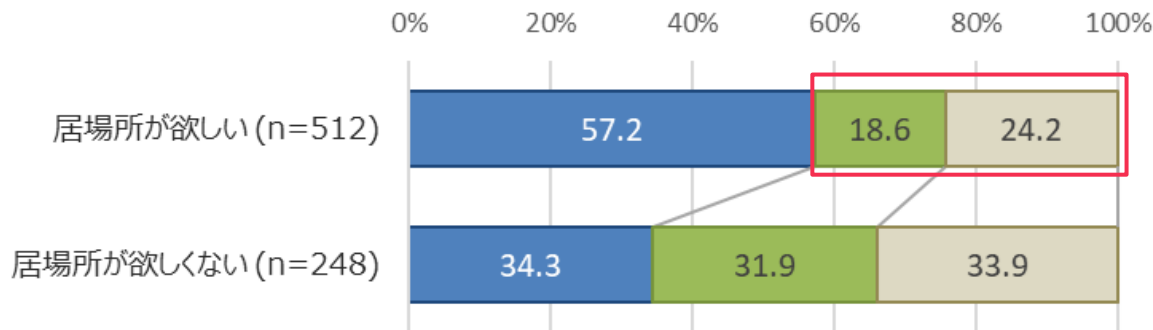
第3の居場所がほしいか

(n=760)



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう

居場所ニーズ別、居場所の有無

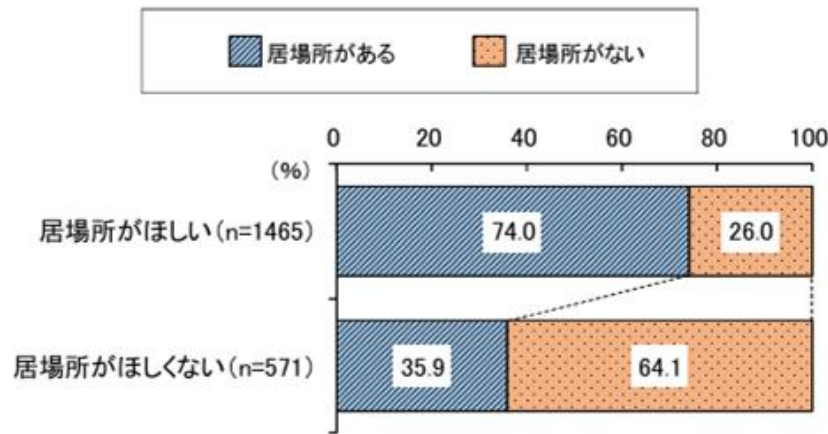


■ 居場所がある ■ 居場所がない ■ 分からない

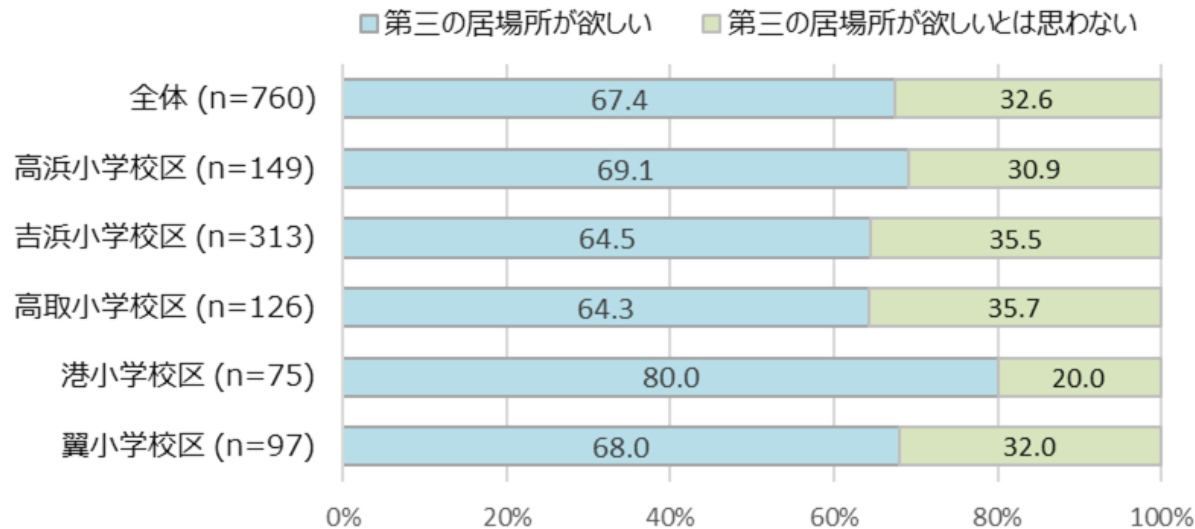
- 「第三の居場所がほしい」と67.4%が回答。2022年実施のWeb調査の72.0%より低い結果となった。
- 居場所の有無との関係では、「第三の居場所が欲しい」と思う人の過半数は「居場所がある」と回答していた一方、「居場所がない」が18.6%、「居場所があるかどうか分からない」も24.2%となった。居場所がない・分からない人においても居場所に対するニーズが一定数存在していることがうかがえた。

【参考】2022年実施内閣官房によるWeb調査
内閣官房（2023）『こどもの居場所づくりに関する調査研究』

図表 38 居場所のニーズ³³別、居場所の有無³⁴



調査結果： 第三の居場所が欲しいのは？

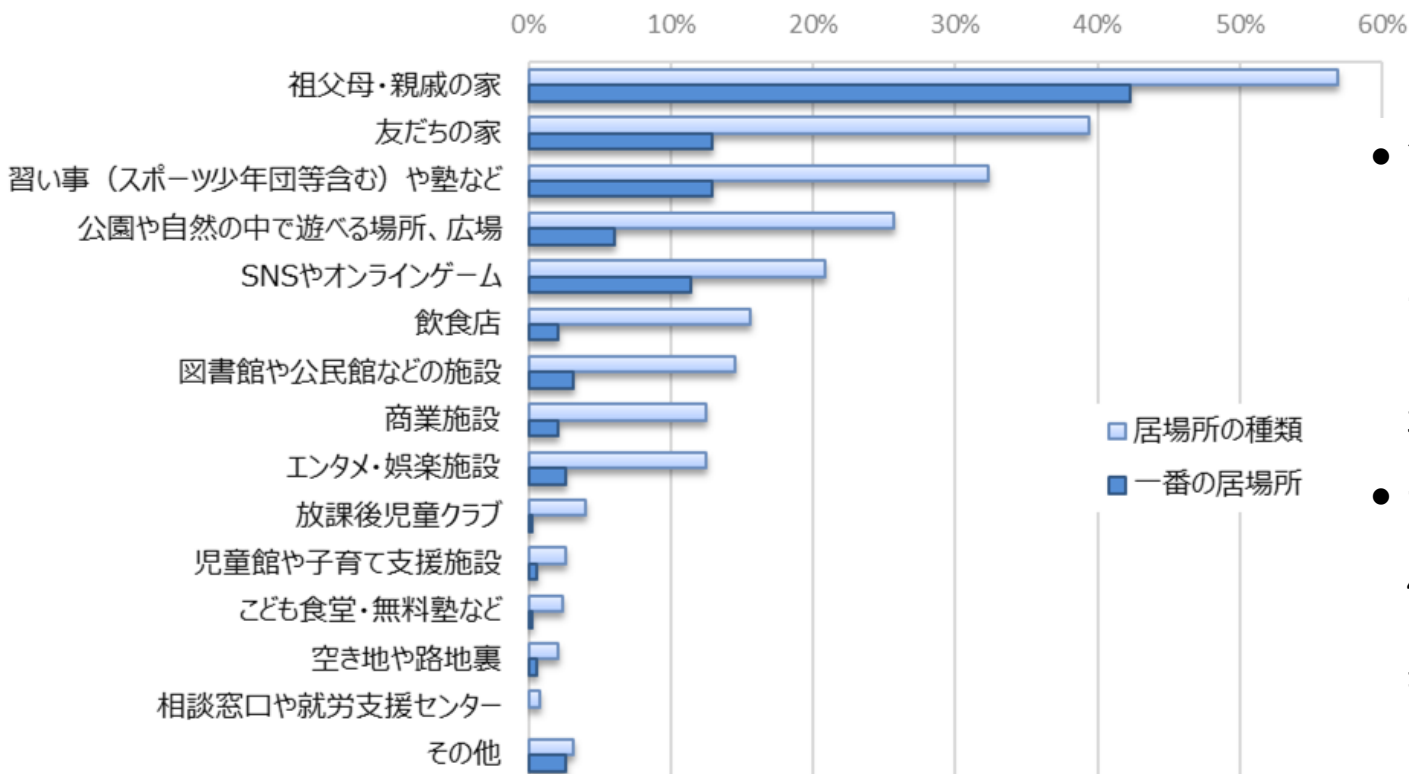


- 学区別に見てみると、港小学校区で「第三の居場所が欲しい」が80.0%となっており、ニーズの高さがうかがえる結果となった。

- その他、「第三の居場所が欲しい」が高い傾向にあったのは、以下の通り（カッコ内は回答割合）
 - 自分の配偶者・子どもと同居している場合（82.4%、76.2%）、一人暮らしの場合（76.2%）
 - 働いている場合（77.1%）
 - 両親が離婚している場合（81.8%）。
 - 海外ルーツがある場合（74.4%）。
 - 家計の不安がある場合（72.2%）。
 - 自分の家が居場所になっていない場合（81.8%）。
 - 地域、友達の家、インターネット空間、習い事や趣味のサークルが第三の居場所になっている場合（85.9%、84.6%、82.3%、74.6%）
 - 相談できる相手がいない場合（74.1%）
 - 朝食を食べない場合（76.7%）
 - 夕食を一人で食べている場合（80.0%）、または一人で夕食を食べる日がある場合（77.1%）。



居場所の種類 (居場所がある人 n=378)



- 第三の居場所があると回答した人のうち、56.9%が「祖父母・親戚の家」が第三の居場所と回答。次いで、「友だちの家」が39.4%、「習い事や塾など」が32.3%。
- 一番の居場所としては、「祖父母・親戚の家」が42%と最も高く、次いで「友だちの家」「習いごとや塾など」「SNSやオンラインゲーム」が11~13%となった。

- 特に、「祖父母・親戚の家」や「SNSやオンラインゲーム」については「一番の居場所」と回答した割合が高く、反対に「公園や自然の中で遊べる場所、広場」や「飲食店」「図書館や公民館などの施設」は複数ある中の一つの居場所となっている傾向が見られた。
- その他としては、「サークル」「馬小屋」「お寺」「駅、電車内」「車」「高浜ふれあいプラザ」「夜の無人の公園」など。



調査結果： 小中学生では「習い事や塾」「公園など遊べる場所」が高い

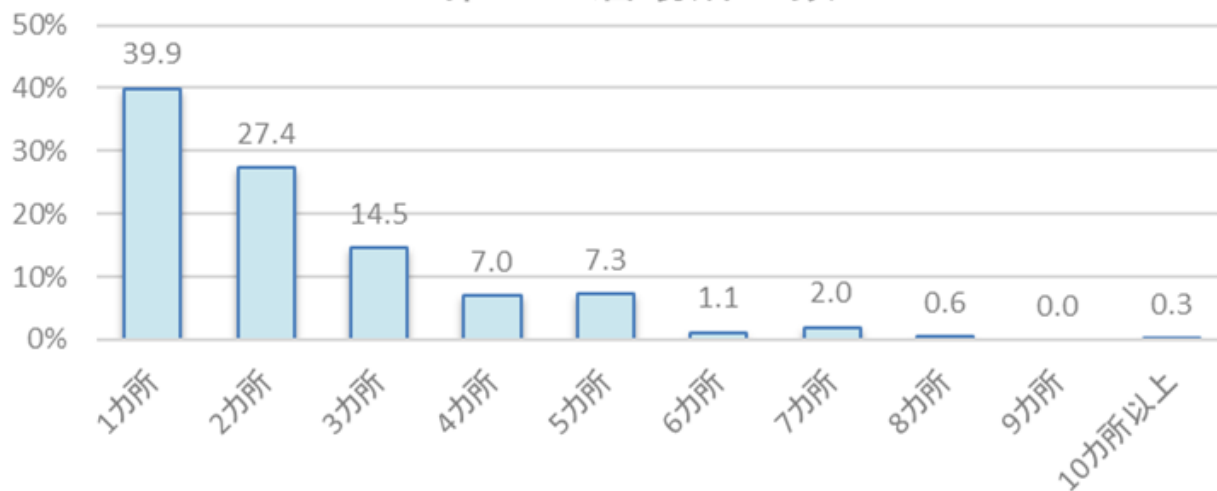
- 学校年代別では、第三の居場所の有無に有意な違いはなかった。
- 第三の居場所の種類をしてみると、
 - 小学生では「祖父母・親戚の家」「習い事や塾」「公園や自然の中で遊べる場所」が多い傾向
 - 中学生では「公園や自然の中で遊べる場所」が多い傾向
 - 高校生では「図書館や公民館などの施設」「飲食店」が多い傾向
 - 29歳以下の就学していない若者では「SNSやオンラインゲーム」が多い傾向

第三の居場所 (年代別内訳)	祖父母・親戚の家	友だちの家	放課後児童クラブ	児童館や子育て支援施設	習い事(スポーツ少年団等含む)や塾など	公園や自然の中で遊べる場所、広場	図書館や公民館などの施設	飲食店	商業施設	エンタメ・娯楽施設	こども食堂・無料塾など	相談窓口や就労支援センター	空き地や路地裏	SNSやオンラインゲーム
全体 (n=378)	56.9	39.4	4.0	2.6	32.3	25.7	14.6	15.6	12.4	12.4	2.4	0.8	2.1	20.9
小学生 (n=187)	65.8	44.4	6.4	3.7	44.9	31.6	13.9	8.6	7.5	8.0	4.8	1.1	3.2	16.6
中学生 (n=56)	53.6	41.1	3.6	5.4	39.3	32.1	14.3	16.1	14.3	10.7	0.0	0.0	0.0	16.1
高校生 (n=57)	45.6	31.6	0.0	0.0	14.0	17.5	19.3	21.1	14.0	15.8	0.0	0.0	1.8	26.3
大学生・専門学校生等 (n=4)	50.0	50.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
29歳以下の就学していない若者 (n=74)	45.9	31.1	1.4	0.0	9.5	12.2	12.2	28.4	23.0	21.6	0.0	1.4	1.4	32.4

調査結果： 第三の居場所は平均2.3カ所。



第三の居場所の数



- 第三の居場所の箇所数としては、平均2.3カ所。約40%が1カ所と回答。

学区別第三の居場所

学区別第三の居場所	親族の家・ 友達の家	習い事や塾 など	地域の施設・ 場所	オンライン空間
全体 (n=375)	72.0	32.5	49.3	21.1
高浜小学校区 (n=80)	71.3	36.3	47.5	12.5
吉浜小学校区 (n=151)	72.8	37.7	50.3	21.9
高取小学校区 (n=55)	76.4	29.1	36.4	32.7
港小学校区 (n=42)	71.4	14.3	59.5	21.4
翼小学校区 (n=47)	66.0	29.8	55.3	19.1

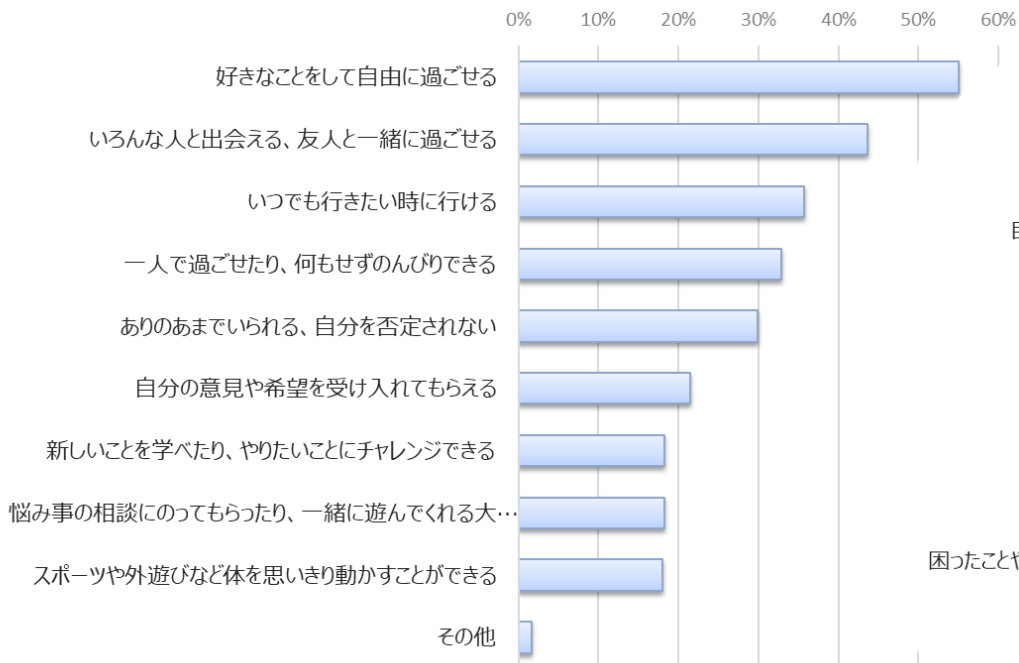
- 学区別に第三の居場所を見てみると、「港小学校区」および「翼小学校区」で「習い事や塾」が低く「地域の施設・場所」が高い傾向がある。一方で、「高取小学校区」は「地域の施設・場所」の割合が低く、「オンライン空間」が高い傾向にある。

調査結果： 居場所は「自分の好きなことができる場所」が5割超



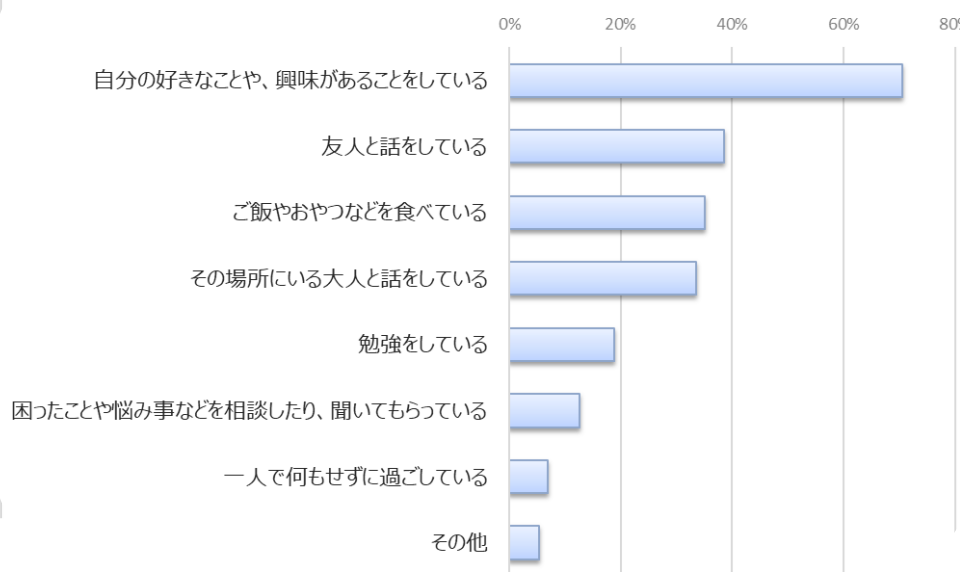
居場所の理由

(n=378)



居場所での過ごし方

(n=378)



- 居場所は「好きなことをして自由に過ごせる」場所と55.0%が感じており、実際に70.6%が「自分の好きなことや興味があること」をして過ごしていると回答した。
- 「いろんな人と出会える、友人と一緒に過ごせる」ことも居場所の理由として43.7%が挙げており、実際に「友人」や「その場にいる大人」と話しているという回答もそれぞれ30%～40%となった。



調査結果：中学生は「友達」、高校生は「ありのまま」が居場所の理由

学校年代別、居場所になった理由	一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる	いろんな人と出会う、友人と一緒に過ごせる	いつでも行きたい時にいける	ありのままでいい、自分を否定されない	好きなことをして自由に過ごせる	自分の意見や希望を受け入れてもらえる	新しいことを学べたり、やりたことにチャレンジできる	悩み事の相談にのってもらったり、一緒に遊んでくれる大人がいる	スポーツや外遊びなど体を思いきり動かすことができる	その他
全体 (n=378)	32.8	43.7	35.7	29.9	55.0	21.4	18.3	18.3	18.0	1.6
小学生 (n=187)	28.3	46.5	33.7	24.1	54.5	25.1	21.4	18.2	26.2	1.6
中学生 (n=56)	25.0	53.6	30.4	23.2	46.4	16.1	21.4	16.1	21.4	1.8
高校生 (n=57)	36.8	28.1	43.9	43.9	61.4	24.6	14.0	26.3	5.3	3.5
大学生・専門学校生等 (n=4)	50.0	0.0	25.0	50.0	50.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0
29歳以下の就学していない若者 (n=74)	45.9	43.2	39.2	37.8	58.1	14.9	10.8	13.5	4.1	0.0

学校年代別、居場所での過ごし方	自分の好きなことや、興味があることをしている	友人と話をしている	その場所にいる大人と話をしている	勉強をしている	困ったことや悩み事などを相談したり、聞いてもらっている	ご飯やおやつなどを食べている	一人で何もせずに過ごしている	その他
全体 (n=378)	70.6	38.6	33.6	18.8	12.7	35.2	6.9	5.3
小学生 (n=187)	73.3	38.5	35.8	20.3	12.8	42.2	3.7	5.9
中学生 (n=56)	71.4	48.2	37.5	23.2	16.1	26.8	5.4	8.9
高校生 (n=57)	64.9	28.1	40.4	17.5	10.5	31.6	12.3	3.5
大学生・専門学校生等 (n=4)	75.0	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0
29歳以下の就学していない若者 (n=74)	67.6	40.5	20.3	13.5	10.8	27.0	10.8	2.7

● 学校年代別では、小学生にとっては「思いきり体を動かせる」、中学生では「友達と一緒に」、高校生では「ありのまま・自由に過ごせる」、就学していない若者にとっては「何もせずのんびり」が比較的重要な理由となっていることが分かった。

調査結果：地域の居場所は「相談等によってくれる大人」が低い傾向

- 地域の施設や場所については「いつでも行きたいときに行ける」傾向があるものの、「悩みの相談によってもらったり、一緒に遊んでくれる大人がいる」は低い傾向にあった。
- 学区別では、「翼小学校区」では、「いろいろな人と出会える、友人と一緒に過ごせる」「悩みの相談に乗ってもらったり、一緒に遊んでくれる大人がいる」が高い傾向があった。

1番の居場所とその理由	一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる	いろいろな人と出会える、友人と一緒に過ごせる	いつでも行きたいときに行ける	ありのままでいられる、自分を否定されない	好きなことをして自由に過ごせる	自分の意見や希望を受け入れてもらえる	新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる	悩み事の相談によってもらったり、一緒に遊んでくれる大人がいる	スポーツや外遊びなど体を思いきり動かすことができる	その他
全体 (n=378)	32.8	43.7	35.7	29.9	55.0	21.4	18.3	18.3	18.0	1.6
親戚の家・友達の家 (n=209)	31.6	36.4	39.2	30.6	56.5	27.3	12.4	21.1	10.5	0.5
習い事や塾など (n=49)	8.2	59.2	4.1	20.4	28.6	16.3	57.1	24.5	51.0	2.0
地域の施設・場所 (n=67)	41.8	46.3	43.3	17.9	56.7	4.5	11.9	4.5	28.4	4.5
オンライン空間 (n=43)	53.5	55.8	37.2	51.2	76.7	25.6	11.6	20.9	2.3	0.0

学区別、居場所の理由	一人で過ごせたり、何もせずのんびりできる	いろいろな人と出会える、友人と一緒に過ごせる	いつでも行きたいときに行ける	ありのままでいられる、自分を否定されない	好きなことをして自由に過ごせる	自分の意見や希望を受け入れてもらえる	新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできる	悩み事の相談によってもらったり、一緒に遊んでくれる大人がいる	スポーツや外遊びなど体を思いきり動かすことができる	その他
Total (n=378)	32.8	43.7	35.7	29.9	55.0	21.4	18.3	18.3	18.0	1.6
高浜小学校区 (n=81)	28.4	44.4	35.8	28.4	50.6	17.3	11.1	18.5	16.0	2.5
吉浜小学校区 (n=152)	33.6	42.8	36.2	26.3	53.3	21.7	21.7	16.4	19.7	2.0
高取小学校区 (n=55)	47.3	40.0	32.7	40.0	61.8	23.6	20.0	12.7	10.9	0.0
港小学校区 (n=42)	33.3	40.5	42.9	33.3	61.9	28.6	19.0	21.4	23.8	0.0
翼小学校区 (n=48)	20.8	52.1	31.3	29.2	54.2	18.8	16.7	27.1	18.8	2.1

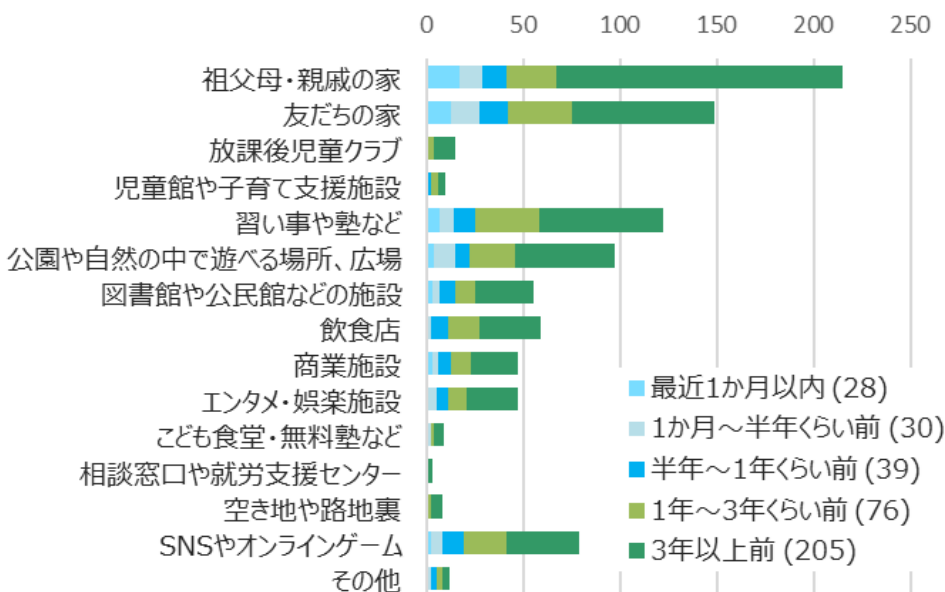
「週に1回以上」居場所に行くが5割以上



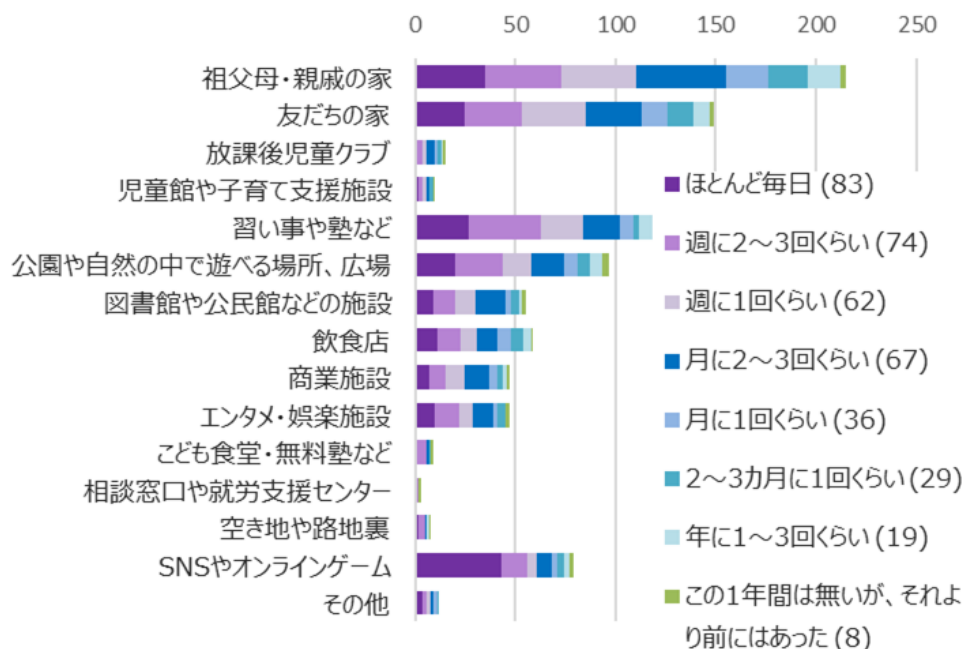
- 居場所になった時期については、「1年以上前から」居場所になっているという回答が74.3%。
- 特に「放課後児童クラブ」「児童館」「祖父母・親戚の家」で高い傾向があった。

- 居場所に行く頻度としては、57.9%が「週に1回以上」居場所に行っているという回答。
- 特に「SNSやオンラインゲーム」「習い事や塾など」において「週に1回以上」の割合が高かった（それぞれ、77.2%、68.9%）。

いつから居場所になっているか (n=378)



居場所に行く頻度 (n=378)



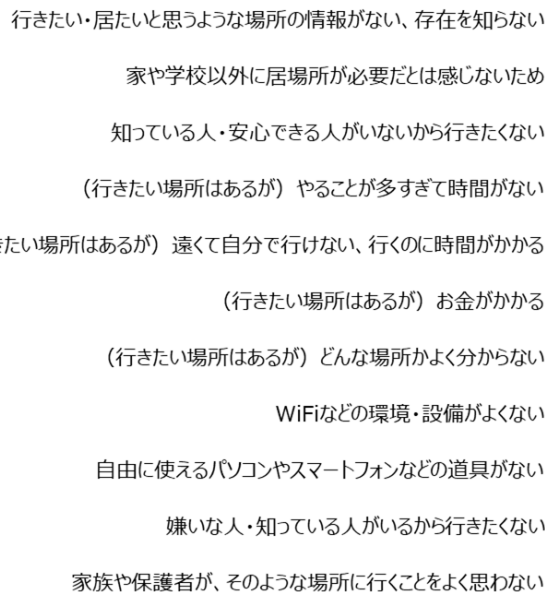
調査結果： 居場所がないのは「情報が無い」が5割以上



居場所がない理由

(n=174)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60%



- 第三の居場所がない理由として最も多かったのは「行きたい・居たいと思うような場所の情報がない、存在を知らない」の57.5%。居場所についての情報の不足が壁になっている可能性がある。
- 「行きたい場所はある」ものの、「時間がない」「遠くて自分で行けない」「お金がかかる」などの制約も15%程度となった。
- 翼小学校区では、情報の不足は43.5%に留まった

- 特に、高浜小学校区では、情報の不足、吉浜小学校は居場所真での距離、港小学校区では設備の不足や知り合いの不在が原因にあげられる傾向が見られた。

学区別、居場所がない理由	行きたい・居たいと思うような場所の情報がない、存在を知らない	(行きたい場所はあるが) やることが多すぎて時間がない	(行きたい場所はあるが) 遠くて自分で行けない、行くのに時間がかかる	(行きたい場所はあるが) お金がかかる	(行きたい場所はあるが) どんな場所がよく分からない	自由に使えるパソコンやスマートフォンなどの道具がない	WiFiなどの環境・設備がよくない	知っている人・安心できる人がいないから行きたくない	嫌いな人・知っている人がいるから行きたくない	家族や保護者が、そのような場所に行くことをよく思わない	家や学校以外に居場所が必要だと感じないため
全体 (n=174)	57.5	15.5	15.5	13.8	7.5	5.2	6.3	16.1	3.4	2.3	33.3
高浜小学校区 (n=33)	72.7	27.3	12.1	21.2	3.0	6.1	12.1	12.1	6.1	3.0	33.3
吉浜小学校区 (n=66)	51.5	16.7	24.2	18.2	12.1	4.5	1.5	15.2	3.0	1.5	30.3
高取小学校区 (n=34)	58.8	5.9	5.9	0.0	5.9	8.8	2.9	11.8	2.9	0.0	41.2
港小学校区 (n=18)	66.7	5.6	5.6	11.1	5.6	5.6	22.2	33.3	5.6	5.6	11.1
翼小学校区 (n=23)	43.5	17.4	17.4	13.0	4.3	0.0	4.3	17.4	0.0	4.3	47.8

地域の居場所は「もっと長く」いられるようになってほしい



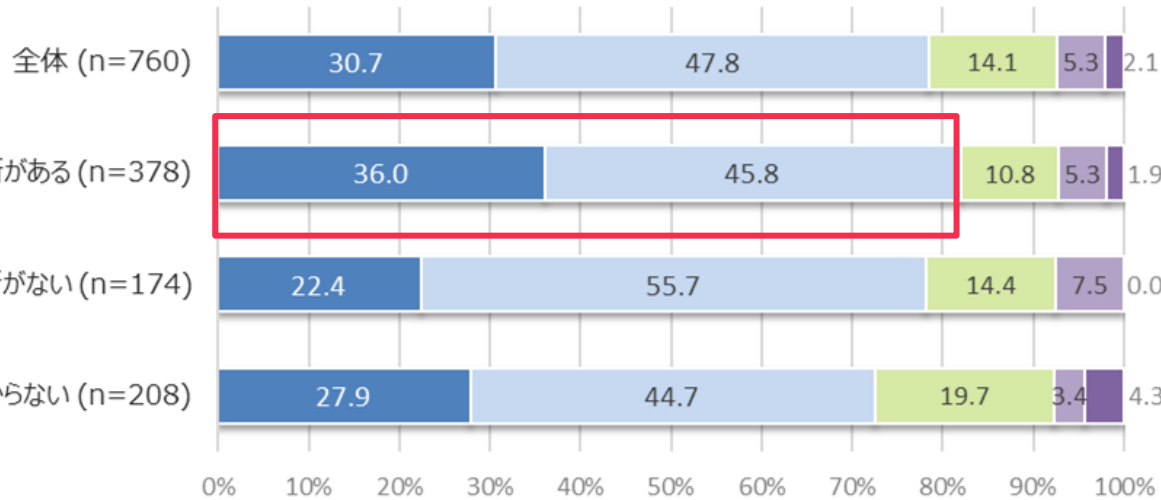
- 第三の居場所がある人の中で、居場所の種類ごとに居場所に求めることをみると、「地域の施設・場所」を居場所と感じている人では、「居場所にいることにお金がかからなくなってほしい」「開いている時間がもっと長くなってほしい」「もっと近くにあって通いやすくなってほしい」「自由に使えるWiFi環境やタブレット等があってほしい」が比較的高い傾向が見られた。
 →地域の居場所については、「開いている時間」「より身近な場所」等、場所としての物理的な制約の緩和が求められており、「いつでも行ける・いられる場所」としてのニーズの高さが見られた

居場所の種類別、居場所に求めること	自分が好きなことや、興味のあることをしたい	自分が知らないことや新しいことに取り組んでみたい	あまり大人が口出ししないほしい	決まりやルールを減らして、自由にさせてほしい	話したいときに、自分の話を聞いてほしい	困っていることや悩み事を話したときに、味方になってほしい	大人に、子ども（自分たち）がどうしたいか聞いてほしい	大人に、子ども（自分たち）が取り組んでみたいことを応援してほしい	居場所にいることにお金がかからなくなってほしい	開いている時間がもっと長くなってほしい	もっと近くにあって通いやすくなってほしい	自由に使えるWiFi環境やタブレット等があってほしい	特になし
全体 (n=760)	53.2	27.2	23.8	23.2	20.3	18.4	8.9	9.5	24.9	16.4	22.8	27.9	15.8
親族の家・友達の家 (n=270)	47.0	30.7	18.1	20.4	17.0	15.9	7.8	10.0	14.8	13.3	19.6	21.5	22.6
習い事や塾など (n=122)	46.7	36.1	20.5	22.1	18.9	19.7	6.6	9.8	18.0	16.4	23.8	23.0	23.8
地域の施設・場所 (n=185)	49.7	34.1	24.9	24.3	19.5	15.7	7.6	11.4	24.3	22.2	27.6	29.7	14.6
オンライン空間 (n=79)	50.6	30.4	25.3	20.3	19.0	13.9	3.8	7.6	19.0	13.9	16.5	17.7	15.2

調査結果：地域への愛着は約8割、第三の居場所があると高い傾向

地域に愛着があるか

■ とてもそう思う ■ まあそう思う ■ どちらともいえない ■ あまりそう思わない ■ 全くそう思わない



- 78.5%が地域への「愛着がある」と回答。「愛着があると思わない」は7.4%
- さらに、第三の居場所がある場合には、地域への「愛着がある」が81.7%となった。

- 全国のこども・若者に対する調査では、「今住んでいる地域が好きですか」に対して「好き」と回答したのは72.1%、「今住んでいる地域で良いと思うところはありますか」に対して「愛着がある」は31.2%となっていた。

【参考】 こども家庭庁（2023）『我が国と諸外国のこどもと若者の意識に関する調査』

Q24 あなたは、あなたの今住んでいる地域（市町村）が好きですか。（回答は1つ）
(%)

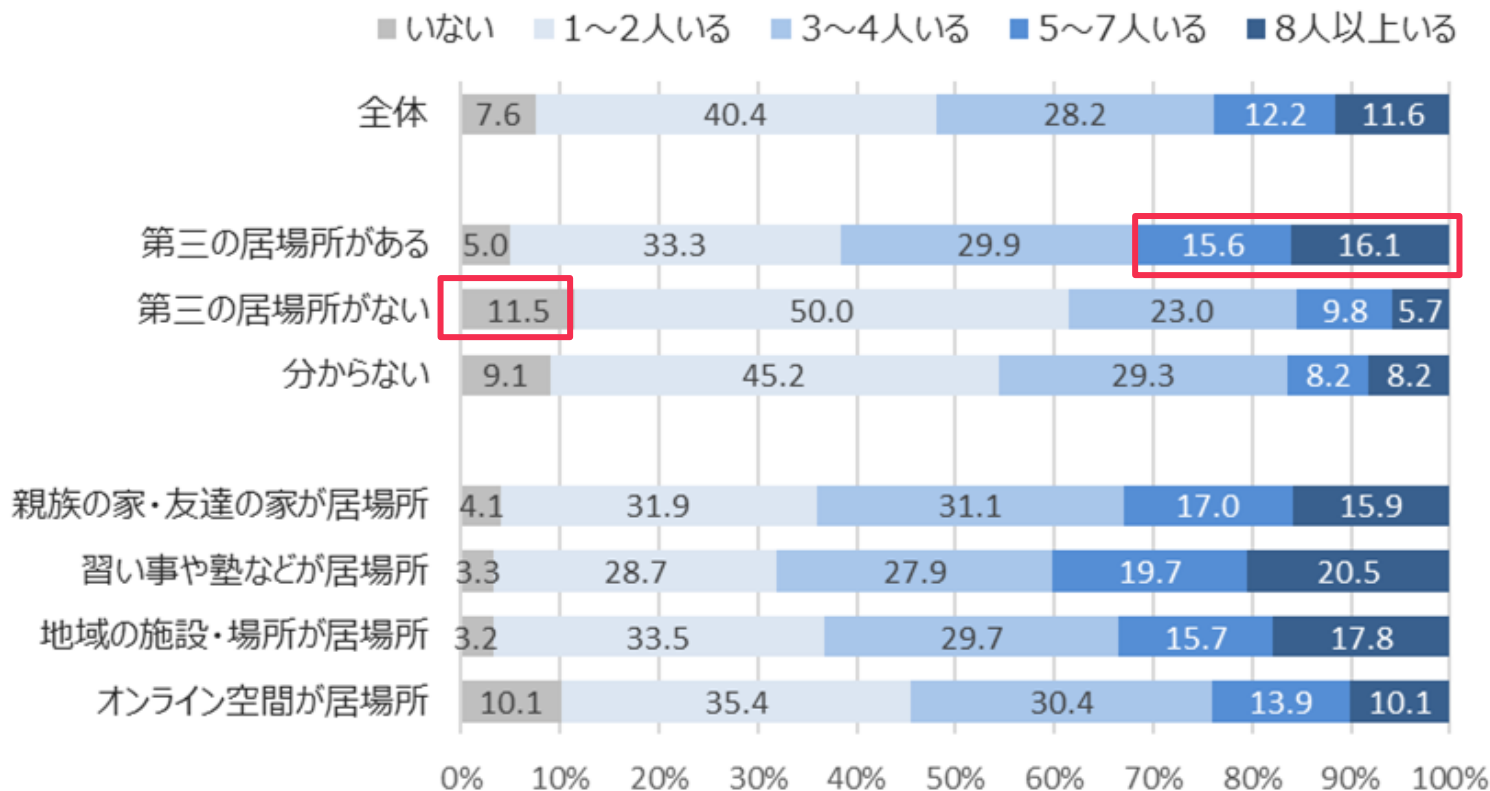
	好きである	どちらかといえば好きである	どちらかといえば好きでない	きらいである	わからない	好きである (計)	きらいである (計)
令和5年度調査 (n=1089)	26.2	45.9	11.6	5.1	11.3	72.1	16.6
平成30年度調査 (n=1134)	27.7	46.8	9.8	5.1	10.6	74.5	14.9

第三の居場所がある場合、相談できる人が多い傾向



- 第三の居場所がある場合、相談できる人の数が多い傾向がある。特に「8人以上いる」が16.1%、「5人以上いる」では31.7%となっていた。
- 第三の居場所の中では、「習い事や塾」「親族の家・友達の家」「地域の施設・場所」などが居場所の場合、「5人以上」が多い傾向があったが、「オンライン空間」が居場所の場合についてはその傾向はみられなかった。

相談できる人の人数 (n=760)





居場所の有無と各年代との交流状況

	第三の居場所の有無	普段、話したり遊んだりする相手					
		就学前児童	小学生	中高生	若者 (30歳未満)	大人	高齢者
小学生 (n=376)	ある	54.0	94.7	43.9	19.3	62.0	48.1
	ない	49.3	86.7	22.7	6.7	48.0	38.7
	分からない	39.5	88.6	44.7	14.0	43.9	29.8
中学生 (n=123)	ある	32.1	62.5	98.2	33.9	66.1	58.9
	ない	24.2	39.4	84.8	15.2	54.5	36.4
	分からない	23.5	44.1	100.0	11.8	61.8	44.1
高校生 (n=109)	ある	17.5	33.3	87.7	43.9	73.7	54.4
	ない	11.5	15.4	96.2	30.8	73.1	46.2
	分からない	19.2	26.9	96.2	26.9	53.8	34.6
大学生・専門 学校生等 (n=14)	ある	0.0	0.0	50.0	75.0	75.0	25.0
	ない	33.3	33.3	33.3	100.0	66.7	50.0
	分からない	25.0	25.0	25.0	75.0	50.0	0.0
29歳以下の 就学していない 若者 (n=138)	ある	24.3	25.7	47.3	74.3	85.1	44.6
	ない	8.8	20.6	32.4	70.6	70.6	41.2
	分からない	33.3	30.0	46.7	70.0	73.3	46.7

- 第三の居場所がある人は、異なる年代との交流機会が「ある」の割合が高い傾向が見られた。
- 特に、第三の居場所がある場合、大人や高齢者との交流が有割合が高くなる傾向があり、特に小学生や中高生でその傾向が見られた。
- 就学していない29歳以下の若者においても、第三の居場所がある場合、就学前児童や中高生、30歳以上の大人との交流が高い傾向が見られた。

参考（小学低学年生へのグループインタビュー/アンケートから） 居場所になっているのは、自分の家や商業施設など



居場所

自分の家	38
自分の部屋	4
お兄ちゃんの部屋	1
家のソファ	3
こたつ	1
車・バイク	3
学校	11
図書室	1
第三の居場所	65
祖父母の家	14
友だちの家	8
塾・習い事	2
地域にある場所	18
商業施設・飲食店	23
オンライン空間	0
不明	2
無回答	1
合計	44

1番の居場所と過ごし方

自分の家	25	ゲーム、いつもの場所
自分の部屋	1	読書
学校	1	遊ぶ
第三の居場所	14	
祖父母の家	4	遊ぶ、タブレット
友だちの家	2	遊ぶ
地域にある場所	3	友だちと遊ぶ、読書、作品を作る
商業施設・飲食店	5	遊ぶ
オンライン空間	0	

公園、クラブ室、
児童センター、
ふれあいプラザ

スポッチャ、ドミー、
イオン、マック

- 「自分の家」については、居場所として最初にあげられた割合が最も高かった。
- 第三の居場所としては、「祖父母の家」の他、様々な場所が記載されていた。

